

抄 録

東北太平洋南部海域におけるズワイガニ雄の サイズ別最終脱皮割合および甲幅組成の地理的変異

鷹崎和義*・富山 毅**

Geographic variation in the size-related terminal-molt proportion and carapace width
of the male snow crab *Chionoecetes opilio* off the Pacific coast of southern Tohoku, Japan

Kazuyoshi TAKASAKI and Takeshi TOMIYAMA

日本水産学会誌 83(2),156-162 (2017)

2007-2009 漁期年（12 月-翌年 3 月）に、沖合底びき網漁船が宮城県～茨城県海域で漁獲したズワイガニ雄のサイズ別最終脱皮割合と甲幅組成を調べた。甲幅 120mm 以上の個体では全て最終脱皮を終えていたが、甲幅 119mm 以下の個体では福島県海域における最終脱皮割合が茨城県海域よりも高く、宮城県～福島県海域における甲幅は茨城県海域よりも有意に小さかった。これらのことから、東北太平洋南部海域においてズワイガニ雄のサイズ別最終脱皮割合と甲幅組成に地理的変異が存在することが示された。

* 福島県内水面水産試験場

** 広島大学生物圏科学研究科